

2年生 国語 正確に理解し適切に表現する能力をつけるため

知識・技能

評価物：定期テスト・小テスト・書写・授業中の課題

- ・学習した漢字を適切に使用することができる。
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したり、訓読文を正しく書き下したりできる。
- ・言葉の決まりを正しく理解できる。
- ・表現の技法を理解し、自身の表現として使うことができる。

【授業中】

- ・言葉に関心をもち、聞く時間と話す時間を使い分け、周りの人と交流しながら学び合いましょう。
- ・わからなかったことはあとで調べられるように線をひいたり、書き留めたりしておきましょう。

【家庭学習】

- ・学習中または学習予定の文章の中で読めない漢字、書けない漢字をノートに抜き出してみましょう。
- また、人に意味が説明できない語も同様に抜き出し、意味調べや例文づくりを行いましょう。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・発言・課題などの成果物、ノートの記述、活動

- ・自分の考えを分かりやすく伝えられる。そのために表現を工夫できる。
- ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫できる。
- ・事実と意見、具体と抽象の関係を捉え、文章の要旨を把握できる。

【授業中】

- ・自分自身の意見を大事にする。つまり、表現することを意識してみましょう。
- ・他の人の意見を大事にする。つまり、聞き方や質問のしかたを工夫してみましょう。
- ・ノートに「疑問に思ったこと」や「自分ならどうするか」といった、他の人には書けないことを残してみましょう。

【家庭学習】

- ・ノートを工夫しながらまとめなおしてみましょう。
- ・おうちの人に学んだ内容を分かりやすく伝えて、感想をもらいましょう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：ノート・学習プリント・授業中の課題

- ・「言葉」を通じて積極的に人に関わったり、考えを確かなものにしたりしている。
- ・ノートを書き写すのみならず、自身にとって有益な情報をあわせて書き留めている。
- ・ロイロノートの課題や、その内容についても意欲的に取り組もうとしている。

【授業中】

- ・発表や発言を通して積極的に授業へ参加しましょう。ノートにその跡を残していくことも大切です。

【家庭学習】

- ・読書を重ねて、言語生活を豊かにしましょう。

2年生 社会 ～色々な立場から考える力をつけるため～

知識・技能 評価物：テスト・レポート

- ・日本の地域の特徴を、自然環境や、産業の視点に基づいて説明することができる。
- ・日本の諸地域の特徴を、地図やグラフ、統計資料から読み取ったり、表したりすることができる。
- ・各時代の特徴や歴史上の人物の行ったことについて、説明することができる。
- ・歴史上の出来事について、その原因や結果について、説明することができる。

【授業中】

・自分から学ぼうとする気持ちを大事にしましょう。ペアやグループで話し合う場面では、自分の考えを伝えたり、仲間の考えを知ったりすることを大切にしましょう。まとめの場面では、本時の学びを定着させるために、しっかりと書きましょう。

【家庭学習】

- ・用語を覚えているか、何度も繰り返し、自分でチェック(テスト)をしてみましょう。
- ・地理の学習では、地図やグラフをたくさん見ます。その資料の読み取りを正確にできるように復習しましょう。

思考・判断・表現 評価物：テスト・レポート

- ・日本の地域について、様々な資料から、関連させたり、比べたりして、考察することができる。
- ・歴史上の出来事について、その意味や与えた影響について、色々な角度から考えることができる。
- ・学習課題について、自分の考えを持ち、他の人の考えも取り入れながら、論理的に述べる。

【授業中】

・社会科は考えたことを言葉で表現することが基本となります。相手の人にも自分の考えたことが伝えられるように、書いて、説明することに挑戦しましょう。

【家庭学習】

・授業中で取り組んだ課題にもう一度、家で取り組んでみましょう。授業では気がつけなかった角度から考えられるかもしれません。

主体的に学習に取り組む態度 評価物：レポート

- ・単元の学習のなかで、自分の変容や学んだことに対する自分の考えをしっかりと振り返ることができる。

【授業中】

・授業中のまとめでは、学んだことをしっかり書き溜めましょう。そのことが振り返りにつながります。

【家庭学習】

・社会（世の中）のすべてを授業で扱うことはできません。学んだことと新聞や本、インターネットで知ったことを結び付けていきましょう。

2年生 数学 ～日常の課題を解決する際に、数学の良さを活用するために～

知識・技能

【評価物】：定期テスト、小テスト、提出物（自分の答え、ラスボス等）など

- ・中学1年生までに学習した内容を使いながら、新しい学習内容を知識として習得することができる。
- ・身につけた知識を取捨選択して、基礎的な問題等に活用し、問題を解くことができる。

【授業中】

- ・授業で学習した知識を使い、演習問題に臨みましょう。「協働作業」の時間を大切にする。
- ・途中式（結果までの自分の考え方の筋道）を意識し、粘り強く取り組みましょう。

【家庭学習】

- ・知識・技能を早めに定着させるため、ワーク（数学の学習）や授業の問題を使い、基礎的な問題を徹底的に練習する。

思考・判断・表現

【評価物】：定期テスト、小テスト、提出物（自分の答え、ラスボス等）など

- ・課題を解決するために、自分のもつ知識や技能を、取捨選択し、活用することができる。
- ・自分の考えたことを、数や文字、数学的な用語を使って、表現することができる。
- ・自他の考えを取り入れながら、課題について筋道を立て、表現することができる。

【授業中】

- ・学習内容について、自分の考えをより良いものに変えていくために、自分の考えや先生、友達の発言をノートにメモしたり、考えを発言して、他の人からの反応をもらいましょう。

【家庭学習】

- ・応用問題に取り組む際、課題解決までにどのような知識・技能が使われているかを、意識すること。
答え合わせや復習の際、どんな知識がどのように活用出来たら、“初見でも問題が解けるのか”を、
ひたすら確認し、メモするなどしてアウトプットしておこう。

主体的に学習に取り組む態度

【評価物】：授業態度、提出物（自分の答え、ラスボス等）など

- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

【授業中】

- ・小さなことでも、授業中に自分で考えたことや感じたことをメモし、交流時間に表現、共有していき
ましょう。→表現した考えや気づきから、更なる課題を発見していきましょう。
- ・毎授業後、本時の学びを「振り返り」として、ノートにアウトプットしましょう。
- ・困ったことがあれば、周りの仲間や先生にサポートを求めましょう。

【家庭学習】

- ・授業で学習した内容を定着させるために、計画的に時間を確保し、粘り強く問題に取り組みながら、
試行錯誤をしましょう。
- ・自分の課題を把握し、克服するために何ができるのかを具体的に考え、実行しましょう。

2年生 理科

～自然現象を理解し、この世界の不思議を見つけるため～

知識・技能

評価物：定期テスト・小テスト・ワークシート・行動観察

- ・自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則・用語などを理解している。
- ・観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

【授業中】

- ・授業中に可能な限り覚えられるよう、説明は集中して聞き取ろう。
- ・話し合いの場では積極的に発言し、原理・法則・用語の意味を説明できるようにしよう。
- ・実験では注意すべきこと、操作の理由を理解して取り組もう。

【家庭学習】

- ・教科書を事前にしっかり読んで、予習を中心に学習しましょう。
- ・授業で習った内容をその日のうちに復習する。
- ・テスト前には配られるプリント、補助教材、教科書章末問題などを活用しましょう。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・レポート・ワークシート・行動観察

- ・実験操作を行う理由を説明できる。
- ・得られた結果を分析して規則性、関係性、共通点、相違点、などを見いだして表現できる。
- ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することができる。

【授業中】

- ・観察・実験で得た結果から、原因を探り自分の言葉、考えを文章で表現できるようにしよう。
- ・話し合いの場で、様々な意見に触れ、異なる考え方、視点があることに気づこう。

【家庭学習】

- ・授業中で取り組んだ課題にもう一度、家で取り組んでみよう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：ワークシート・レポート・行動観察

- ・自らの学習状況を把握し、試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする。
- ・正解を導き出すことではない。

【授業中】

- ・これまでにならったことを活用しよう。
- ・話し合いの場では新たな気づきを提案しよう。
- ・新たな課題、疑問を見つけよう。
- ・友達の意見に耳を傾け自分の考えを修正しよう。
- ・ワークシートの振り返りにしっかりと取り組もう。

【家庭学習】

- ・振り返りを行い、理解できていることと出来ていないことを整理し、覚えられていないことについては粘り強く取り組み、説明できるようにしよう。
- ・振り返りをしっかりと書こう。

2年生 音楽 ～見えないものを視る力（想像力）を養うために～

知識・技能

評価物：実技テスト・定期テスト・ワークシート

- ・音楽の特徴と音楽の仕組み・歌詞の内容との関わりが分かっている。
- ・様々な楽器の音色や響きと、演奏の仕方との関わりが分かっている。
- ・自分の思いや意図にあった表現をするための力（その曲に合った発声方法、楽譜を見て歌う力、呼吸や発声方法、響きのある声の出し方、周りの声や伴奏との合わせ方）が、身についている。
- ・設定された条件を基に、自分が表現したいことを即興的に、音を選んだり組み合わせたりして表現する力が身についている。
- ・自分の思いや意図に合った表現をするための力（音楽の仕組み）を用いて、音楽づくりができています。

【授業中】

- ・理解したことが表現できるように積極的に活動しよう。
- ・気付いたことはワークシートや教科書にメモをしよう。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・ワークシート

- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ることができる。
- ・聴き取ったことと、感じ取ったこととのつながりに気付いて、それがどのように音楽に関わっているかを考えることができる。
- ・曲にふさわしい表現をどのように表現したらよいかを考え、工夫している。
- ・曲や演奏のよさなどを発見できている。
- ・『このように歌いたい！』『このように演奏したい！』という自分なりの思いや意図をもっている。
- ・曲全体（よさや面白さや美しさ）を味わって、音楽を評価しながら聴くことができる。

【授業中】

- ・感じたこと、考えたことを言語化できるようにしよう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：ワークシートなど

- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるように、音楽活動を楽しみながら、自ら主体的に取り組むこと。
- ・他者と共に表現や鑑賞の学習活動の中で感じたことを共感したり、気づいたことを共有したりして取り組むことができること。
- ・粘り強く取り組もうとし、自分の学習状況を知って、学習の進め方について試行錯誤して自らの学習を調整して学ぼうとする姿勢が大事。

【授業中】

- ・授業中に自分で考え、書くことを努力しよう。
- ・他の人とたくさん話をし、自分の考えを深めていこう。

2 年生 美術 ～美術を学び、生活に彩を持たせよう～

知識・技能

評価物：作品（学習プリントアイデアスケッチを含む）・確認テスト

- ・美術への知識及び技能の学習状況の評価。それらを自分の持つ知識や技能と関連付けたり活用したりする中で生かすことができているか。
- ・作品の内容・完成イメージ・用具の使い方や制作手順・注意事項を自分なりに理解し制作に役立たせることができているか。
- ・分からないことは先生や友達に聞き何度も繰り返し実践の中で身に付けようとしているか。

【授業中】

- ・学習する用語の意味や内容を理解できるように、スケッチブックやプリントに説明や他の人の意見を自分の言葉で書くようにしましょう。プリントの整理や保管等、分かり易いように工夫しましょう。
- ・作品内容・完成イメージ・使用する用具の取り扱い方制作手順を確認しながら集中して進めましょう。

思考・判断・表現

評価物：作品（学習プリントアイデアスケッチを含む）・確認テスト

- ・美術の知識及び技能を活用し課題を解決・達成するための力を身に付けようとしているか。
- ・様々な表現に挑戦し、知識や想いを心のままに楽しみながら表現しようとしているか。
- ・思考錯誤を繰り返しながら自分の表現を追求しようとしているか。

【授業中】

- ・何を伝えたいか自分の中でイメージを持ち、取り組みましょう。
- ・制作の中で創意工夫、確認しながらより良い作品完成を目指して取り組みましょう。
- ・見通しを持って進度に応じた対応や制作を行い完成させる。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：ワークシートなど

- ・作品制作の中で様々な表現を試しながら積極的に取り組もうとしているか。
- ・他の人の作品に触れ、協力し楽しみながら美術にふれようとしているか。

【授業中】

- ・積極的に作品制作に取り組み、意識し集中してより良いものを目指して取り組みましょう。
- ・表現技法を工夫したり他者の作品等を見て、良いと感じることを自分の作品に取り入れましょう。

2年生 保健体育 ～大人になっても運動やスポーツと関わるため～

知識・技能

評価物：単元テスト・学習プリント

- ・ 傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・ 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。

【授業中】

- ・ 自己の生活との比較や、各分野の具体的な説明ができるようにする。

思考・判断・表現

評価物：単元テスト・学習プリント

- ・ 傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。
- ・ 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

【授業中】

- ・ 設定された課題に対して、その解決に向けて意欲的に学習活動に取り組めるようにする。
- ・ レポートなどの提出物においては、期限に遅れることのないようにする。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：学習プリント

- ・ 傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けることができる。
- ・ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動することができる。

【授業中】

- ・ 実技テストにおいては、記録だけではなく、自己のレベルに応じた目標を設定し、課題に挑戦しようとする部分を評価する。（実技テストを実施できなかった者には、レポートを評価に加えるものとする。）
- ・ 体操服・教科書・ノートなど、忘れ物がないようにする。（見学者も原則、体操服に着替えること。）学習内容について、教科書・ノートを参考にして、積極的に授業に参加する。

2年生 技術・家庭科（技術分野）

～生活や社会の中から技術にかかわる問題を見つける～

知識・技能

評価物： 製作品 定期テスト 課題 授業観察 ワークシート

- ・ エネルギー変換に関する基礎的な知識・技能を身につけ、生活や社会・環境との関わりについて理解する。
- ・ 生物育成に関する基礎的な知識・技能を身につけ、生活や社会・環境との関わりについて理解する。
- ・ 情報に関する基礎的な知識・技能を身につけ、簡単なプログラミングを作成できる。
- ・ 工具や機器を安全に使い、製作する技能を身につけている。

【授業】

- ・ 授業が第一優先です。学習する作業内容を理解するために、指示はしっかり聞きましょう。
- ・ わからないことは、まず自分でよく考えましょう。それでもわからないことは、クラスのなかまと話し合ってみましょう。

【家庭学習】

- ・ 学習したことを学校外の生活に活用させよう。生活の中での疑問点を自分で調べて解決しよう。

思考・判断・表現

評価物： 製作品 定期テスト 課題 授業観察 ワークシート

- ・ エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。
- ・ メディアを複合する方法及び情報処理の手順と問題解決の工夫について考えている。
- ・ 生物育成の技術に込められた問題解決のための工夫を考えることができる。
- ・ 製作過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- ・ エネルギー変換・生物育成の技術およびプログラムについて評価し、新たな改良や応用について考えている。

【授業】

- ・ 授業が第一優先です。製作品は、見通しを持って計画的に最後まで完成させましょう。
- ・ 作業の中で気づいた問題点は、自分で調べてよく考えて解決しましょう。クラスのなかまと話し合うことも有効です。
- ・ 完成した製作物について、自分の言葉で自信をもって発表しましょう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物： 製作品 テスト 課題 授業観察 ワークシート

- ・ 主体的にエネルギー変換・生物育成・情報の技術について考え理解しようとしている。
- ・ 主体的にエネルギー変換・生物育成・情報に関する技術について考え理解しようとしている。
- ・ 課題解決に主体的に取り組んだり、改善したりしようとしている。
- ・ 生活の向上を目指しエネルギー変換・生物育成・情報の技術を工夫し創造しようとしている。

【授業】

- ・ 自分でよく考えたりなかまと話し合ったりしたことは自信を持って、積極的に活動しましょう。
- ・ 最も大切なことは毎時間の授業です。けじめをつけて、何事にも前向きに取り組みましょう。
- ・ 作業を伴う際には、けがのないように細心の注意を払いましょう。情報モラルを遵守しましょう。

【家庭学習】

- ・ 学習したことを学校外の生活に活用させよう。生活の中での疑問点を自分で調べて解決しよう。

2年生 技術・家庭科（家庭分野）

～よりよい生活と持続可能な社会の実現に向けて～

知識・技能

評価物：定期テスト・学習プリント

- ・食生活における基礎的・基本的な知識を理解している。
- ・調理に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。
- ・売買契約の仕組み、購入方法や支払方法の特徴について理解している。

【授業中】

・学習する用語の意味を理解できるように、ノートやプリントに先生の説明や他の人の説明を自分の言葉でたくさんメモできるようにしましょう。

【家庭学習】

・学習したことを生活の中で実践してみましよう。また、家庭の仕事を進んで手伝うことが知識や技能の習得につながります。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・学習プリント・学びの足あと

- ・食生活について問題を見だし、工夫、改善することができる。
- ・調理実習において、見通しをもって作業を行い、班の人と協力して工夫、改善することができる。
- ・消費生活について問題を見だし、工夫、改善することができる。

【授業中】

・自分の生活を振り返り、問題点を見だし、どのようにしたらうまくいかや改善点を考え、自分の考えをしっかりとまとめられるようになりましょう。また学んだ知識を生活にどう生かしていくか考えることも大切です。

【家庭学習】

・学習したことを生活の中で実践してみましよう。どのようにしたらうまくいか（工夫）やうまくいかなかったことをどう改善していくか考えることが大切です。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：学習プリント・学びの足あと・実習

- ・学習内容や自分の生活に関心を持ち、自分の生活をよりよいものにしようとしている。

【授業中】

・授業中に自分で考え、書くことを努力して下さい。また、他の人の意見にも耳をかたむけ、自分にはない考えや発見もしっかり取り入れましょう。

【家庭学習】

・衣食住、消費生活、環境、家族についてなど、自分の生活に関心を持ちましよう。そして、どう改善したらさらによくなるかを考え、実際に取り組んでいってください。

2年生 英語 ～英語「を」学び、英語「で」学ぶ（実技教科としての英語）～

評価は3観点（①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度）でしますが、英語の教科の特性上、下のような図で、3観点15領域で評価します。

知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度				
聞く	読む	話す (やりとり)	話す (発表)	書く	聞く	読む	話す (やりとり)	話す (発表)	書く	聞く	読む	話す (やりとり)	話す (発表)	書く

知識・技能 評価物(例)：定期テスト等・パフォーマンステスト・授業

- ◆単語の発音・意味・つづり、語句、文の構造、文法事項、語順がわかる。
- ◆「聞く」「読む」を通して英語の内容を捉える技能を身につけている。
- ◆「話す」「書く」を通して英語で伝えたいことを表現する技能を身につけている。

【授業中】

- ① 英語を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりできるように、「勉強」と「練習」をしましょう。
- ② プリント等には、自分が大切だと思うことを自分で書き込もう。あとから見返したときに、自分で内容が理解できる参考書を作るつもりでやろう
- ③ 間違えた場合、答えを消してしまわず、原因、考え方、答えを赤ペンなどで記入しよう。間違えた部分は自分の伸びしろ、宝物です。テスト前にどこを勉強すれば良いか、未来の自分に分かるようにしておこう。
- ④ 「静かに聞く」時と「活発に活動する」ときのメリハリをつけよう。どちらも大事です。

【家庭学習】

- ① 宿題は、その日のうちに、必ず家でする習慣を身につけよう。
- ② 家でポイント等を見直し、授業中に間違えた問題（赤で訂正した問題）をやりなおそう。
- ③ 単語（発音、意味、つづり）、文法、音読の3つは毎日やる習慣をつけよう。

思考・判断・表現 評価物(例)：定期テスト等・パフォーマンステスト・授業

- ◆目的・場面・状況などに応じ、「聞く」「読む」を通して英語の要点・概要・詳細を捉えている。
- ◆目的・場面・状況などに応じ、「話す」「書く」を通して英語で伝えたいことを表現している。

【授業中・家庭学習】

- ① 設定された目的・場面・状況を自分事としてとらえ、表現しよう。
- ② 設定された目的・場面・状況の相手意識を持って表現しよう。
- ③ 習っていない難しい表現よりも、習った中で言い換える練習をし、繰り返し学習をしよう。
- ④ 単元を見通し、単元末の課題を常に意識し、授業に挑もう。

主体的に学習に取り組む態度 評価物(例)：定期テスト等・パフォーマンステスト・授業・提出物

- ◆自分の英語の目標をもち、より力を伸ばしたり、課題や弱点を克服したりするため、自分の学習を調整できる。
- ◆上記の目標のため、粘り強く、自分の学習を調整できる。

【授業中・家庭学習】

- ① 説明は顔を上げて聞き、授業や活動に意欲的に参加しよう。
- ② その日学習したことは、その日のうちに復習しよう。
- ③ 粘り強く学習し、よりよい表現や内容を考えよう。
- ④ 毎時間や単元末に振り返りをし、良かった点や改善点を見つけ、次につなげよう。

※紙の教科書や参考書のみを使う時代から、PCやタブレットも有効に使う時代になりました。積極的に学習アプリや動画、英語の録音などを使いましょう。ただし間違った使い方にならないように。